

兵 庫 県 会  
保 險 医 協 会  
西宮 芦屋 支部 ニュース

No. 276  
2009・7・25

発行 兵庫 県 保 險 医 協 会 西宮・芦屋 支部  
西宮市石列町十八ー八 大森内科 医院内  
連絡先 兵庫 県 保 險 医 協 会 電 話 〇 七 八 ( 三 九 三 ) 一 八 〇 一

## 西宮芦屋支部第29回支部総会

# 市民ら440人が「脳を楽しむ」

西宮・芦屋支部は7月4日、西宮勤労会館で第29回支部総会を開催。「脳を楽しむ」記憶・意欲・睡眠をめぐる」と題した東京大学准教授・池谷裕二先生の記念講演には、市民ら440人が参加した。森下敬司先生（西宮市・森下医院）の謝辞を掲載する。

## 「脳ブーム」の到来

池谷先生、本日は東京からわざわざお越し頂き、科学的な内・外国の文献や画像を提示しながら内容の濃いお話をお聞かせ下さいましてありがとうございます。

西宮支部の年1回の市民公開講座はおかげさまで好評でして、何時も100から200名程度の方がお出でになります。今日の参加者はなんと400人を超えており、これまでの最高です。

先生は今39歳。まさに油の乗り切った気鋭の脳研究の学者さんですが、今回の「脳を楽しむ」と言う先生のお話について、いかに皆さんが期待しての参加かと思われま

さて、かつては暗黒の世界と言われた「脳」の世界においてもMRIや医療技術の進歩で明るい展望が見られております。

先日の新聞でも、手を全く動かさず頭の中で思い浮かべるだけで、脳の細胞の活動電位をコンピューター処理をして前に進んだり右に曲がったりする電動車の事が報じられておりました。身体障害者の方にとって朗報だと思えます。

また、脳外科医として有名な福島孝徳先生は「神の手」「空飛ぶドクター」とも称せられ、年間600人、計2万人もの難手術を日本や外国でされており、皆様もテレビでご覧になった事があると思います。

書店には脳トレの本が多く見られ、頭を良くすると称したゲーム機なども店頭にあふれ、今や「脳ブーム」到来の様相です。

しかしながら光があれば陰ありで、脳や心の問題に関しては看過できない多くの問題が見られるようになって参りました。

今や「鬱の時代」とも言われるように鬱病の患者さんも多くなり、日本は3万人を超える世界一の自殺者国家だそうですが、その3割位は鬱の患者さんとの事です。

また、認知症の患者さんが来年には200万人と予測され、その多くはアルツハイマー型で社会的にも由々しき問題となって居ります。先日、女優の南田洋子さんがこの病気になるって夫の長門裕之さんの献身的な介護ぶりがテレビで報映されておりました。

その他、学習も働く意欲もないニートの



脳について最新の情報も交えながら講演する池谷先生



会場には市民ら440人が詰め掛けた

人(08年度64万人)、不登校の子供たち、すぐキレる子供や大人達、学習困難LDやADHD(注意欠損多動症)、アスペルガーの人達も多く見られます。

本日は興味深い色々なお話を伺いましたが、特に「脳は身体あつての脳である、何にでも興味を持つて体を動かし脳を刺激して活性化すれば、年を取っても脳の力は衰えない」との先生のお言葉は、今日ご参加の皆さんにとって大変嬉しいお言葉だったと思えます。

皆様に代わりまして御礼申し上げます。

## 世話人会だより

西宮・芦屋支部は6月26日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催しました。出席は8人。

### 【報告】

- ① 第4回胸部X P読影会 (5・29)
- ② 第3回レセプトオンライン請求問題検討会 (6・6)
- ③ 英語で診療#22 (6・12)
- ④ 日常ガイドライン研究会 (6・25)

### 【協議事項】

- ① 第29回支部総会 (7・4)
- ② 医療過誤・訴訟セミナー (7・18)
- ③ 第21回在宅医療研究会 (7・25)
- ④ 新規開業医交流会 (7・25)
- ⑤ 事務講習会 (8・15)
- ⑥ 第4回レセプトオンライン請求問題検討会 (8・8)
- ⑦ 漢方研究会 (9・5)
- ⑧ 英語で診療#22 (9・18)
- ⑨ ホームページ作成勉強会
- ⑩ 阪神淡路大震災15周年企画

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

# Medical English 勉強会 #22

## 「23回目の難しさを再認識」

西宮・芦屋支部は6月12日、西宮医療会館・会議室で、「呼吸器疾患く気管支喘息と肺気腫」をテーマに第22回 Medical English勉強会を開催、医師・スタッフら24人が参加した。Robert Conroy 先生が講師を、坂尾福光先生（ビューハイッククリニック）が司会を務めた。今回アドバイザーを務めた鍵岡均先生（西宮市・かぎおかクリニック）の感想文を掲載する。



発音について一人一人指導するConroy先生

Medical English セミナーに今回はじめてアドバイザーとして参加させていただき、呼吸器専門医として喘息、慢性閉塞性肺疾患の日常診療のスキットの作成に参加しました。

勤務医時代は、臨床で英語を使う状況は滅多になく、あっても適当な医学用語と身振り手振りで何とかやってきました。

今回の医学英会話では、医学用語の発音はもちろん、言い回しの難しさを再認識する機会になりました。加えて、出席されていた先生方の流暢な発音には驚きました。

アドバイザーとは名ばかりでお役に立てたかどうか甚だ疑問ではありましたが、新鮮な時間を体験させていただきました。今後は可能な限り参加したいと考えています。

御指導いただきました、坂尾 福光先生、Conroy 先生ありがとうございました。

かぎおかクリニック 鍵岡 均

### 第22回日常診療ガイドライン

## COPDを見逃さないために

西宮・芦屋支部は6月25日、第22回日常診療ガイドラインを開催した。講師に兵庫医科大学内科学呼吸器 RCU 科講師の田端千春先生を迎え、「しのびよるCOPDの恐怖」と題して講演いただいた。藤森歯科クリニック・藤森隆史先生の感想文を掲載する。



講義終了後は活発な質疑応答がなされた

スパイロメトリーを使用しないと、軽度のCOPDは見逃していることとなるらしい。潜在的患者数はかなりあるとされ、特に阪神地区10カ所の医療機関での調査では、他の調査よりも有病率が圧倒的に高かったそうである。理由は「空気が汚れているのか？」とも考えたが、何を主訴にそれら医療機関を受診したのかが問題だったかもしれない。もし、仮に歯科医院を受診された方で、主訴を虫歯と歯周病に分けて各々スパイロの検査を行うと、喫煙と関連性の高い歯周病患者の群の方が、圧倒的にCOPD罹患率が高いといった結果になるだろう。

講演終了後の質疑応答も楽しみの一つである。ベテランの先生方の臨床の場面を見せていただいているようである。スパイロメトリーの普及率は、まだ、それほど高くはなさそうである。30万円の投資で、月1回300点測定できるといふのは、歯科から見ると羨ましい限りではあるが…。

藤森歯科クリニック 藤森 隆史



COPDについて実践的なお話をする田端先生

休診日に開催されたこともあり、一般教養科目単位取得のような軽い気持ちで参加させていただいた。

最近、TV番組で「あなたの〇〇年齢は…!」といった表現を耳にする。スパイロメトリーを使用して「肺年齢」を算出し、患者さんのモチベーションを上げることに成功されているそうだ。某タバコ関連企業の会長を禁煙に導いた事例も話された。